

平成26年度第1回青森市自動車運送事業運営審議会 会議概要

【開催日時】平成26年4月23日（水） 午前10時00分～

【場 所】青森市交通部東部営業所 2階 大会議室

【出席委員】柳谷章二会長、小笠原一副会長、秋田谷洋子委員、小笠原和繁委員、柿崎祥子委員、木戸喜美男委員、工藤健委員、工藤雅史委員、種市勲委員、千葉敏彦委員、奈良稔委員、原子睦子委員、藤田誠委員《計13名》

【欠席委員】葛西育弘委員、仁藤司史委員《計2名》

【事務局】公営企業管理者 相馬政美、交通部長 成田謙司、管理課長 岸田耕司、管理課副参事 船橋正明、管理課主幹 横内信造、同 佐々木幸人、東部営業所長 橘昭二郎、西部営業所長 相馬秀廣

【会議次第】

1 開会

2 会議

(1) 報告事項

審議会委員からのご意見に対する対応状況について

(2) 案件

①「平成26年度企業局交通部運営方針」について

②「バス交通に関する戦略」の進捗状況について

議事概要

(1) 報告事項

審議会委員からのご意見に対する対応状況について

⇒当日配布資料に基づき、事務局説明

《委員意見》

利用者の利便性向上のため、複数の事業者間で使用可能なICカード等の導入について、引続き検討すること。

(2) 案件

①「平成26年度企業局交通部運営方針」について

⇒事前配布 資料①に基づき、事務局説明

②「バス交通に関する戦略」の進捗状況について

⇒事前配布 資料②に基づき、事務局説明

《質疑応答》

○委員

赤字路線を廃止するだけが経営改革では無いと思うが。

○事務局

「バス交通に関する戦略」は単純な路線廃止ではなく、撤退路線を民間バス事業者に移管する方法をとっている。

○委員

ハイブリッド等の低公害バス導入について検討してはどうか。

○事務局

購入費用に対する国の補助制度もあることは承知しているが、ハイブリッドバスは高額であること、CNG（天然ガス）バスは燃料供給ステーション等のインフラ整備の問題点もあるので、今後の検討事項としたい。

○委員

青森駅始発のバスについて、早めにバス停に移動させ、待っている乗客を乗せることはできないか。

○事務局

青森駅のバスターミナルは、発着の回数が多く、長い時間バスを停車させることができない状況にある。

○委員

高齢者のため、待合所整備を進めて欲しい。

○事務局

各種補助制度を活用し整備を進めているが、設置場所の問題もあり、年1箇所程度の整備となっている。

○委員

全バスにGPSを導入し、バスロケを整備してはどうか。

○事務局

平成24年度に購入した新運賃箱を設置した車両にはGPSが搭載されているが、まだ相当数未設置の車両があるため、バスロケの整備は難しいと考えている。

○委員

再任用職員について、正職員と同じようにボーナスを支給する必要は無いのではない
か。

○事務局

再任用職員は、定年退職された職員を採用し、65歳まで任用している正規の地方公
務員である。

再任用制度そのものも、国の指針に基づき、青森市全体で行っており、ボーナスを含
めた相当の給与を支給するのは問題ないと考えている。

その給与水準については、再任用時に引下げられるので、人件費の抑制にも繋がって
いる。

○委員

平成28年3月で市営バス創立90周年を迎えるにあたり、なにかイベントを検討し
ているのか。

○事務局

現時点では検討していないが、今後そのあり方を含め、部内で検討していく。
